

# 琉球大学学術リポジトリ

## 写真や図を中心にみる琉球の農作物主要病害虫 (16)

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-06-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 田盛, 正雄, Tamori, Masao メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/20567">http://hdl.handle.net/20.500.12000/20567</a>

写真や図を中心にみる

# 琉球の農作物主要病害虫 ⑬

## 害 虫

### ミカンコミバエ

**形態：**卵は、1ミリメートル内外、乳白色で細長く、やや湾曲している。

幼虫は、体長10ミリメートル内外、無頭無脚のウジで、黄白色から黄赤色。

蛹は、長さ5ミリメートル内外、俵のようで淡い黄色。

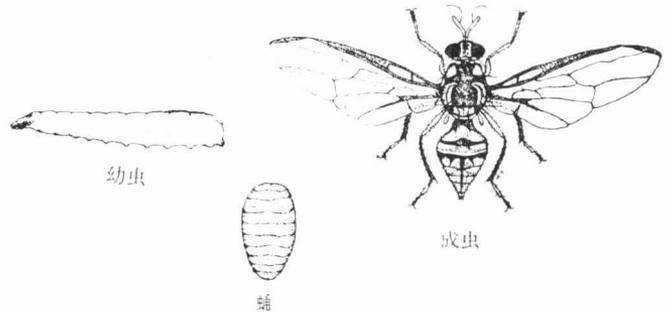
成虫は、体長7ミリメートル内外で、小さい蜂のようにみえる。頭部はかつ色、胸背は黒色からかつ色でうすい黄色の短い毛がはえ、2条の黄色い縦線がある。腹部は黄色から黄赤色、丁字形の黒い紋がある。脚は黄色であるが、すねはかつ色。

**加害：**ミカン類、イチゴ類、バナナ、モモ、スイカ、バンジロウ、パパヤ、など多くの果実を加害し、ふ化した幼虫は果肉を食害するので、被害果は早熟、落果、腐敗する。幼虫が老熟すると地中で蛹になる。あるいは表皮下で蛹になる。

#### 防 除：

1. 果実に袋かけをすると最も効果的。
1. 落果その他の被害果は早く集めて焼きすてるか地中深くうめる。
1. 成虫は食じ誘殺する。
1. 天敵（アリスアンミバエコマンバチなど）を輸入保護増殖する。
1. 硫酸ニコチンや馬拉ソン剤などを散布する。

ミカンコミバエ



### ミカンムグリガ

**形態：**卵は、長さ0.27ミリメートルで扁平。

幼虫は、約3ミリメートル、頭は かつ色をおびた淡緑色、胸部と腹部は淡かつ色、ときには緑色となる。

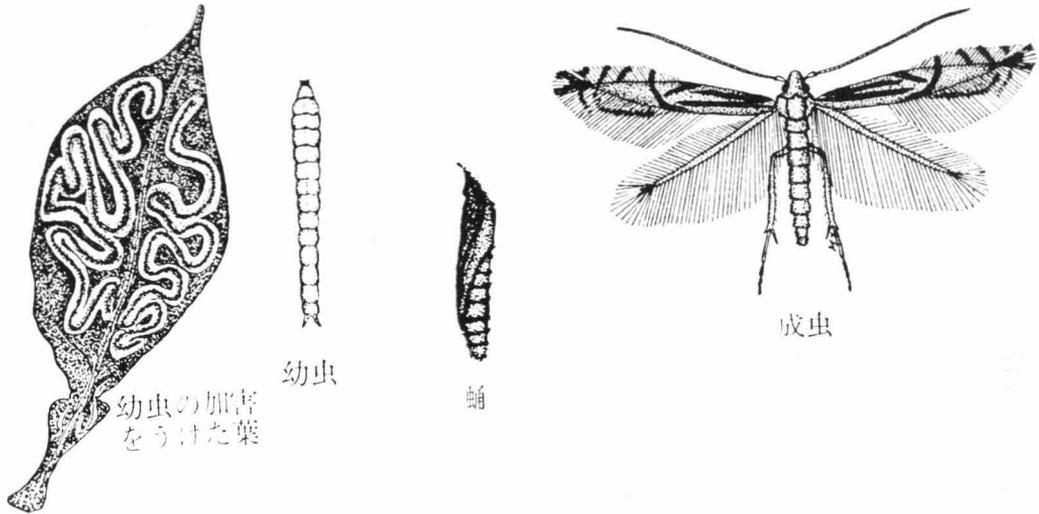
成虫は、頭部は白色、前ハネは白色であるが、細い灰色の2条がある。ハネの中央には前縁からおこる斜線があり、又中央をこえた部分には一本の暗かつ色の横条がある。ハネの端近くにかつ色の斜線がある。後ハネは狭く、白色の長い縁毛があり、それはハネの幅の約5倍ある。ハネの長さは5ミリメートル内外。

**加害：**ミカン類の害虫で、幼虫はおもに葉の表皮の直下にトンネルをつくって進む。葉はこの虫の害のために縮み、苗木では、その発育がはなはだしく害される。年中発生している。

#### 防 除：

1. 発生が多いときの苗木は細目の網で保護する。
1. 硫酸ニコチンや馬拉ソンを散布する。

ミカンムグリガ



サツマイモノメイガ

形態：卵は、長さ1ミリメートル、長だ円形、やや扁平。

幼虫は体長30ミリメートル、はじめあわい白色で、のちに紫色をおびた黄かつ色になる。各節に大小10個の暗かつ色のいぼ状斑点がある。

蛹は、長さ約16ミリメートル、紡ずい形で赤かつ色。

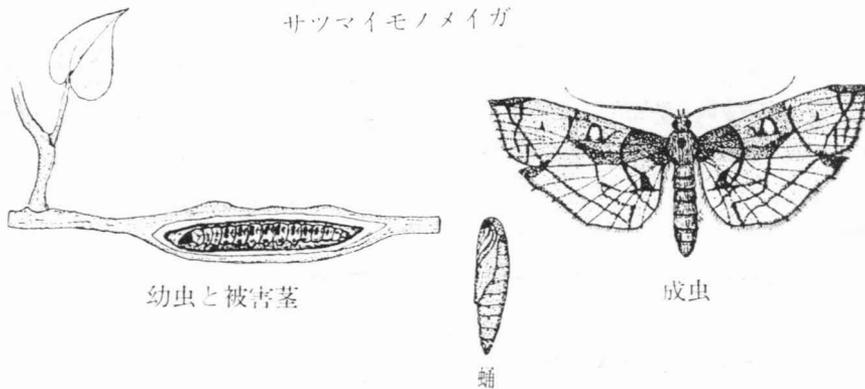
成虫は、体長約14ミリメートル、黄かつ色で、ハネの長さ15ミリメートル内外で不規則な暗かつ色の網状紋がある。

加害：サツマイモの害虫で、八重山、宮古に多く発生する。幼虫は茎の地際に近い部分に食い入り、多くは茎の上部に向って内部を加害するか、あるいはイモの内部を害するものがある。いちじるしい被害株は日中しおれており、このような株は被害部から折れやすく、また地際部が肥大して木質化する。

防除：

1. 抵抗性の強い茎の小さい品種を栽培する。
1. 被害物は処分する。
1. 硫酸ニコチンの600～800倍液を散布する。
1. 天敵(クロテンフシオナガバチなど)の保護増殖
1. エンドリンやアルドリンを散布する。

サツマイモノメイガ



## オキナワイモサルハムシ

**形態：** 卵は、黄白色、だ円形、長さ1ミリメートル内外。

幼虫は、体は乳白色、頭は淡かつ色。体節には多くの横じわがある。体長9ミリメートル内外。

蛹は、乳白色、体長4ミリメートル内外。

成虫は、短いだ円形で、光沢のある黒藍色。体長は約7ミリメートル。

**加害：** 沖縄の方言でカームシと呼ばれ、幼虫はイモの外部を浅く不正形に食害し、内部に食い入ることはない。老熟した幼虫は土中に入り、土でかたまりをつくり、その中で蛹になる。成虫はイモの葉に不正形の円い大きな穴を開けて食害し、卵は土の表面に産みつける。

### 防除：

1. 輪作によって幼虫の加害をさける。
1. 植付時にアルドリンを散布して幼虫の発生を防ぐ。
1. 成虫には、エンドリン、BHC、DDTなどの散布が効果的である。

## ナカシロシタバ

**形態：** 卵は、だ円形、淡黄色、長さ0.55ミリメートル。

幼虫は、頭は灰黄色で、黒点を密布する。背中、気門の上、およびその中間は黄色の縦線となっている。腹は灰白色、体長4センチメートル内外。

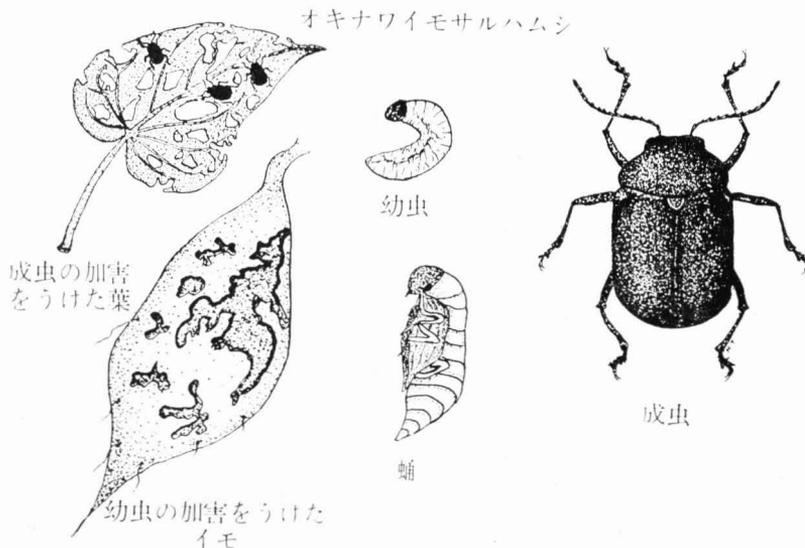
蛹は、赤かつ色、体長22ミリメートル内外。

成虫は、体は暗かつ色、尾端に黒色の長毛がある。前ハネは紫がかった暗かつ色。後ハネの基部は白色、外半は黒色。ハネの長さは18ミリメートル内外。体長は19ミリメートル。

**加害：** 沖縄の方言でイモノスルムシと呼ばれ、イモの大害虫で、幼虫は葉のふちから食害し、老熟すると土の中で蛹になる。

### 防除：

1. DDT乳剤400~600倍液に展着剤を加えて散布する。
1. 砒酸鉛を散布する。
1. エンドリンやアルドリンを散布する。



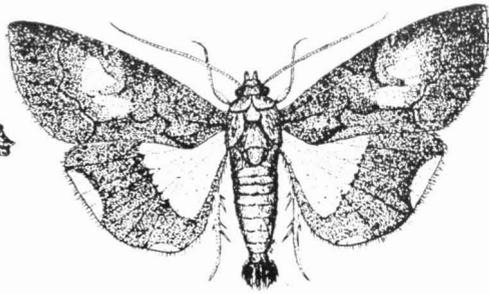
ナカシロシタバ



幼虫



蛹



成虫